



世界に通じるキャンドルの試作開発とEU圏の市場開拓

◆ 海外展開に取り組み始めたきっかけ

我が国における人口減少や信仰に対する意識の希薄化は、私たちの事業の中心である「祈りの領域」での市場縮小と直結し、売上も毎年微減を重ねていました。そのため、10年前に「くらしの領域」にあるろうそくの商品開発に着手するとともに、海外の市場へのチャレンジを開始しました。信頼できる代理店と出会い、共にブランディングと収益を生み出す仕組みを構築し、今ではなくてはならない市場へと成長させることができています。

◆ 補助事業の内容

海外では、当たり前で毎日のくらしの中でろうそくが使われています。本補助事業では、さらなる海外展開を目指し、私たちの強みである100%植物蠟でつくるろうそくを、見た目においても差別化できる商品開発と、より強くエコフレンドリーであること、「火と人を繋ぐ」ことを軸とした弊社のフィロソフィーを伝えるための海外向けパンフレットを製作しました。さらに欧州の顧客（既存・見込みを含む小売店）の元へ直接出向き、新商品についてのヒアリングや弊社の歴史や哲学、個店ごとの顧客ニーズなどの情報を交換してきました。これにより多くの訪問先で互いの信頼を深めることができ、オーダーもいただくことができました。新商品の印象はこちらの期待通りとはいかなかったことが残念でしたが、試作段階での顧客の感触を知れたことは成果でした。

「DAIYOならもっと独創的なものがつくれるはず。期待して待ってる」という言葉も印象的でした。その他、ロッテルダムで開催された展示会「MONO JAPAN」にも出展しました。

◆ 今後の展望

6年前のアメリカ、そして今回の欧州を経て、ネガティブな意見も忌憚なくアドバイスしてくれることに当社への期待と信頼を、また和ろうそくのグローバル市場における競争力の高さ感じるようになりました。今回得ることができたアイデアの種を育て、今後も魅力的な新商品開発に取り組んでいきたいと思えます。ろうそくを日常的に使う文化圏の国を中心に、更に取扱店を増やす活動を続けていきます。

